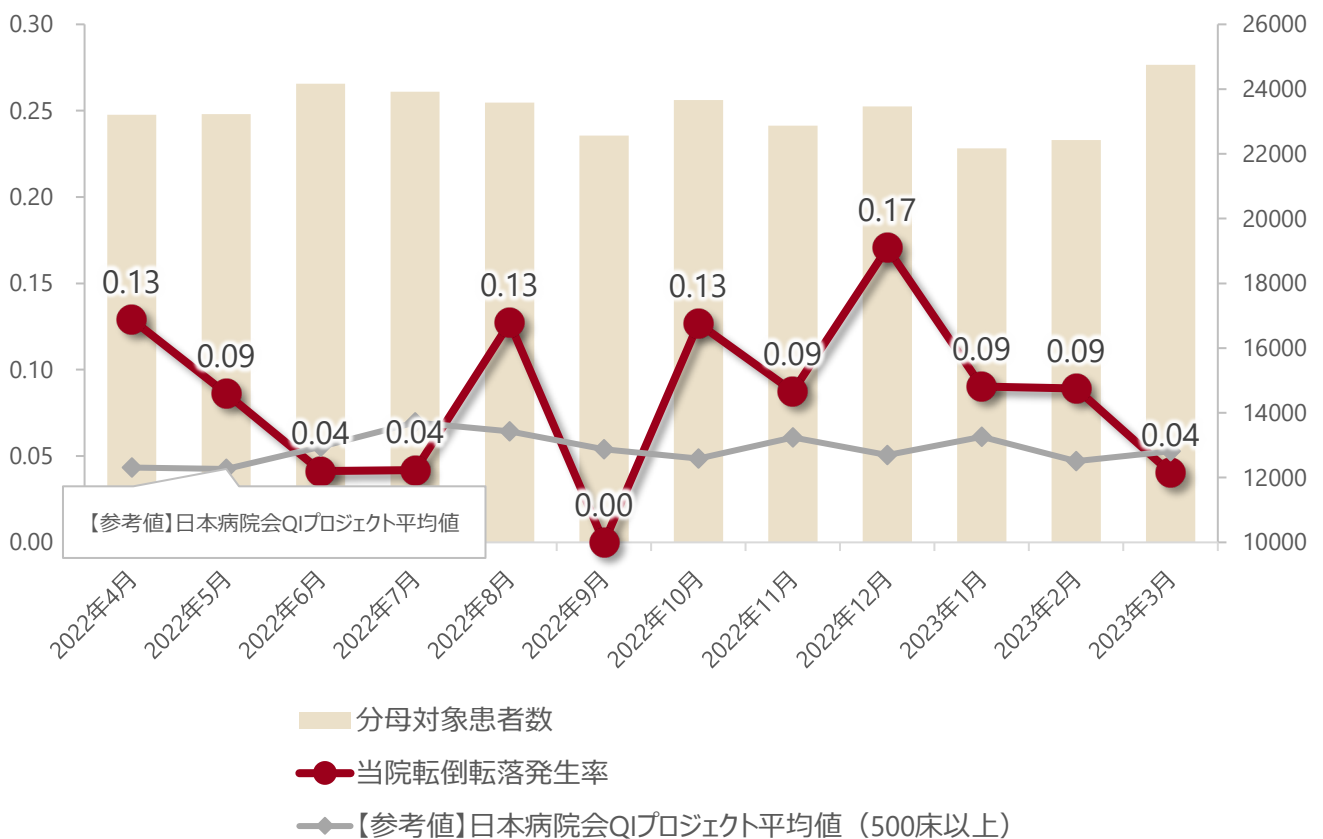


入院患者の転倒転落によるインシデント影響度分類

レベル4以上の発生率

転倒・転落による損傷発生率（損傷レベル4以上）：単位%。（パーミル）



指標の意義・目的

患者さんが転倒・転落に至るのは、入院そのものもたらす環境の変化や疾病・治療・手術の影響によるものなど、原因はさまざまです。インシデント影響度分類レベル4以上とは損傷レベルの高いもの（手術や大きな処置を必要とする）を指します。この指標は、病院として転倒・転落予防の取り組みを効果的に行えているかどうかを表す指標になります。

算出定義

分子：分母のうち、医療安全管理部門へインシデント・アクシデント報告が提出された入院中の転倒・転落件数のうち、インシデン損傷レベル 4 以上の件数を分子とする。

分母：入院患者延べ数

参考

1. The Joint Commission; The Implementation Guide for the NQF Endorsed Nursing-Sensitive Care Measure Set 2009, version 2.0.
(<http://www.jointcommission.org/assets/1/6/NSC%20Manual.pdf> 2021.05.18)
2. 国立大学附属病院における医療上の事故等の公表に関する指針（改訂版）平成 24 年 6 月
3. 厚生労働科学研究費補助金事業（医療安全・医療技術評価総合研究事業）平成 16－18 年度「医療安全のための教材と教育方法の開発に関する研究」班研究報告書 別冊『転倒・転落対策のガイドライン』（主任研究者：上原鳴夫）
4. 厚生労働省 平成 29 年度医療の質の評価・公表等推進事業 共通指標セット
(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000166331.html> 2021.05.18)